

令和3年8月教育委員会議

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書

(社会(歴史的分野))の採択について

資料 2

(答 申)

令和3年 8月10日

広島市教育委員会様

広島市教科用図書採択審議会

会長

長谷川 洋

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書（社会（歴史的分野））採択
について（答申）

令和3年7月27日付け、広市教学指二第72号で諮問されたこのことについては、別紙

のとおり答申します。

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書（社会（歴史的分野））
の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔歴史的分野〕

1 教科 [社会] 種目 [歴史的分野]

「令和4年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書(教科 [社会] 種目 [歴史的分野])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、令和2年度において令和3年度から使用する中学校用教科用図書として本市教育委員会が採択した発行者(1者)及び令和4年度から使用する教科用図書として新たに発行されることとなった発行者(1者)の教科用図書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- 人類史上最初の被爆都市であり、原爆ドームなど平和の原点となる場所や、歴史的建造物や遺構などが多数存在すること
- 身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる地域であること
- 歴史的な事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること
- 歴史に見られる課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」(古代・中世(報告書において、同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため))
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
- 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方」(特に原爆被害、復興、平和発信に関することなどを取り上げて記載)
- 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

(1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「大陸の玄関口・福岡」を掲載している。また、「もっと歴史」に、「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。 ○ 特設ページ「資料から発見」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるために、学習課題を設けている。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページコラム「もっと知りたい」を設け、「『日本』という国名のおこり」や「日本の天皇と中国の皇帝」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「復習問題のページ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「時代の特徴を考えるページ」で、時代の特徴をとらえるための活動を設定している。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「導入の活動」を設け、「平城京が造られた背景にせまろう」等のグループで話し合う課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。 ○ 中項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、中項目の課題を「探究のステップ」とし、2～4ステップで、段階的に探究課題を解決するような学習活動を設定している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、関連する写真やイラスト、登場人物紹介などを掲載している。 ○ 中項目の最後に「復習問題のページ」を設け、語句等の確認を行い、「時代の特徴を考えるページ」で歴史用語等をまとめることで、学習内容を振り返る学習活動を設定している。

(3) 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真188点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「廃きよになった広島」、「長崎に落とされた原子爆弾」の写真に掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島の復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。 ○ 35件のウェブコンテンツにアクセスできるようなQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真141点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島原爆投下」の写真に掲載している。 ○ 特設ページ「調べ学習のページ」を設け、「原子爆弾の被害を考えよう！」をテーマに取り上げ、広島、長崎への原爆投下について、資料から考える課題を2つ掲載している。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、Xチャートやマトリックスの思考ツールを用いながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「トライ」を設け、「次の語句を使って説明しましょう」、「20字程度で説明しましょう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合おう」、「クラスで発表し、意見を交換しよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、その中で、「みんなでチャレンジ」を付し、時代の特徴をまとめるために、意見交換をする学習活動を設定している。
------	--

自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中項目の最後に、「時代の特徴を考えるページ」を設け、短い文章や表でまとめながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに「チャレンジ」を設け、「理由を説明しよう」、「違いを説明しよう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に、「対話とまとめ図のページ」を設け、「まとめ図」を見ながら2人が対話をする場面を掲載している。
-----	---

3 意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。
- 視点②の工夫として、コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。
- 視点③の工夫として、学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。
- 視点⑦の工夫として、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が戦後から復興した背景を追究し、現在の広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。
- 視点⑦の工夫として、ウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載し、対応する箇所には「Dマーク」を付している。
- 視点⑨の工夫として、各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、X チャートやマトリックスなどの思考ツールを用いながら、時代の特徴を考察する学習活動を設定している。
- 視点⑨の工夫として、「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合おう」、「クラスで発表し、意見を交換しよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる」という実態や、生徒の「歴史的事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること」、「課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 歴史的分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。